

平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立己斐小学校	校長氏名	竹川 智子	生徒指導主事氏名	石井 徹
-----	-----------	------	-------	----------	------

取組事例名 『野外活動』**取組のねらい『キーワード「責任」「協力」「奉仕』**

- 集団生活を通して、互いに思いやったり、協力し助け合ったりするなどの、よりよい人間関係を築く。
- 集団生活を通して、自主的自治的な態度を養う。

取組の具体的内容『キーワード チャレンジ』

- 野外活動実行委員を設け、準備の段階から自主的に取り組ませる。
 - ・スローガンの作成
 - ・しおりの作成
 - ・班長会の企画・運営
 - ・式の司会進行、あいさつ
- 一人一人に役割を与え、責任をもって取り組ませる。
 - ・班長（班をまとめる、点呼、健康管理、連絡の伝達）
 - ・生活（持ち物の管理、掃除や風呂の点検、布団やシーツの管理）
 - ・食事（食堂の準備・片付け、水筒の管理）

取組の課題・創意工夫『キーワード 適切な支援』

- 子どもに任せることを基本にしたが、それでも教師が主導になるところが多かった。
- 全てではないが、プログラムの企画段階から運営を子どもに任せ、子どもたち自身に創意工夫させながら、教師の支援が必要な折りに、支援に回ることも考えられた。

取組の成果（効果）『キーワード 自己肯定感』

- 子どもたちが自主的に意欲をもって活動することができた。
- 子どもたちが自信をつけ、野外活動に限らず様々な場面で委員や責任者に積極的に立候補するようになった。
- 学年や学級全体に、自主的に取り組もうとする雰囲気が出てきた。

今後の展開『キーワード 自主・自立』

- 様々な行事やイベントで、企画・運営にチャレンジさせ、達成感を味わわせることを通して、子どもの自己肯定感を養う。
- 全員で協力できたことを認め、お互いを助け合っていく風土を育てる。
- 最高学年としての自覚をもたせる。

他校へのアドバイス『キーワード 自主性を育てる』

- 実行委員会などを取り入れて、企画・運営に関わらせることで、「自分たちがやった」という思いをもたせ、自信をつけさせる。
- 何も仕事がない児童がいないよう、一人一人が役割をもつようにする。

